

平成23年度病害虫発生予察注意報第7号

平成24年2月3日
愛知 県

作物名：イチゴ
病害虫名：ハダニ類

1 発生地域 県内全域

2 発生程度 多い

3 注意報発令の根拠

- (1) 1月下旬の巡回調査の結果、イチゴにおけるハダニ類の寄生葉率は18.0%（平年9.5%、前年16.1%）、発生ほ場率は78.6%（平年49.9%、前年58.3%）で、過去10年と比較してともに最も高く、甚発生のは場も見られる。
- (2) 平成24年2月3日名古屋地方気象台発表の1か月予報では、向こう1か月の気温は平年より低いが、日照時間は平年並からやや多いと予想されており、ハウス内はハダニ類の発生に適した環境条件が見込まれる。

4 防除上注意すべき事項

- (1) 発生を認めたら寄生密度が低いうちに下表を参考に防除を行う。
- (2) ハダニ類は下葉の裏に多く寄生しているため、不要な下葉を除去した後、薬液が葉裏にも十分かかるように丁寧に散布する。
- (3) ハダニ類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一薬剤の連用を避ける。
- (4) 薬剤によってはミツバチへの影響があるので、薬剤の選定には注意する。
- (5) 天敵を放飼する場合は放飼前に徹底した防除を行い、すでに天敵を放飼している場合は、下表を参考に影響の少ない薬剤を使用する。
- (6) 薬剤はラベルの表示事項を守り使用する。

表 イチゴのハダニ類に対する主な防除薬剤

薬剤名	希釈倍数	収穫前日数 /使用回数	ミヤコカブリダニ に対する 影響			チリカブリダニ に対する 影響		
			卵	成	残	卵	成	残
コロマイト水和剤	2000倍	前日/2回	-	○	-	-	△	-
スターマイトフロアブル	2000倍	前日/2回	-	-	-	-	-	-
ダニサラバフロアブル	1000倍	前日/2回	-	◎	-	-	-	-
ニッソラン水和剤	2000～3000倍	前日/2回	-	◎	0	◎	◎	0
マイトコーネフロアブル	1000倍	前日/2回	◎	◎	0	◎	◎	0
ダニトロンフロアブル	1000～2000倍	前日/1回	-	◎	-	-	-	-
バロックフロアブル	2000倍	前日/1回	×	◎	-	×	◎	-

注) 卵：卵に、成：成虫に対する影響。

残：その農薬が天敵に対して影響のなくなるまでの期間で単位は日数。

天敵に対する影響は◎：死亡率0～25%、○：25～50%、△：50～75%、×：75～100%、-：試験データなし

表中の影響の程度及び残効期間は目安であり、気象条件により変化する。

天敵に対する影響は日本バイオリジカルコントロール協議会の「バイオコントロール2011 VOL15 No.1」から引用。

5 連絡先

愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除グループ
電話：0561-62-0085（内線471）